

# 膵頭十二指腸切除術後における膵液漏の危険因子および周術期管理の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022 年 1 月 27 日 ～ 2023 年 3 月 31 日

## 〔研究課題〕

膵頭十二指腸切除術後における膵液漏の危険因子および周術期管理の検討

## 〔研究目的〕

膵頭十二指腸切除を施行した症例の術後合併症、術後在院死亡などの短期成績および膵液漏の危険因子を調査することです。

## 〔研究意義〕

肝胆膵領域疾患に対する膵頭十二指腸切除は、現在広く行われております。しかし、当術式は腹部手術のなかでも難易度の高い手術と考えられております。手術手技の改善や周術期管理の進歩により死亡率や合併症発生率は改善が見られておりますが、長期入院などを余儀なくされる状況がまだまだ多く見られております。特に膵液漏といわれる合併症発生率はいまだ高く、重篤な感染性合併症になりうる可能性があります。しかしながら、それに対する、最適な予防方法、対策に関しては一定の見解を得ておりません。本研究では、膵頭十二指腸切除後の膵液漏に関する危険因子や、術後の最適なドレーン抜去時期などの管理方法を明らかにすることを目的としております。

## 〔対象・研究方法〕

2010 年 4 月から 2021 年 6 月までに帝京大学医学部附属病院外科で膵頭十二指腸切除を施行された症例を対象とします。症例背景(年齢、性別、既往歴、血液検査など)、手術時間、出血量、術後合併症、術後ドレーン抜去時期、ドレーン培養結果、術後在院死亡、再入院の有無などの項目を検討し、術後短期成績、膵液漏の危険因子を解析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院外科

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究で患者様のデータを取り扱う際は、個人情報保護に十分配慮します。研究の成果を公表する場合は、患者様を特定できる情報を含まないようにし、本研究の以外の目的で患者様のデータを使用することはありません。

〔その他〕（健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。）

本研究は後ろ向きの観察研究であり、患者様に費用負担および健康被害は生じません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：津嘉山博行

所属：帝京大学医学部外科学講座 助手

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）〔内線 7218〕